

元気な風がふくまち

NAKAMA CITY Public Relations

ななかま

広報

12 2011 No.904

平成23年12月10日発行

みんなであな顔を支えよう

CONTENTS

もくじ

特集 2

「そばにいるね」

子育て親子を全力で応援します

| | |
|--------------------------|----|
| 市からのお知らせ | 12 |
| まちのわだい | 14 |
| 環境・市民協働・消費者相談 | 16 |
| くらしの情報・無料相談 | 17 |
| 健康ファミリー・医療講座 | 20 |
| 人権作文・俳句王国公開録画観覧者募集 | 21 |
| みんなのひろば | 22 |
| 文芸歳時記 | 24 |

表紙の説明は 24 ページをご覧ください

特集

そばにいるね

あなたの子育て支援隊

女性の社会進出、核家族化による地域のつながりの薄れなどにより、子育てをめぐる環境は大きく変わってきています。

昔は、多くの人の手や目があり、親の目が行き届かない場面でも、隣近所の人たちが見てくれるなど、地域の人たちで子育てを応援していました。

しかし現在は、近所づきあいが少なくなり、不安やストレスを抱えながら一人で子育てをするお母さんも多くいます。

そこで中間市では「お母さんを一人にしてはいけない」と、家庭、地域、企業、行政が一体となって子育てを応援しています。

すべては親子の笑顔のために。すぐそばで。

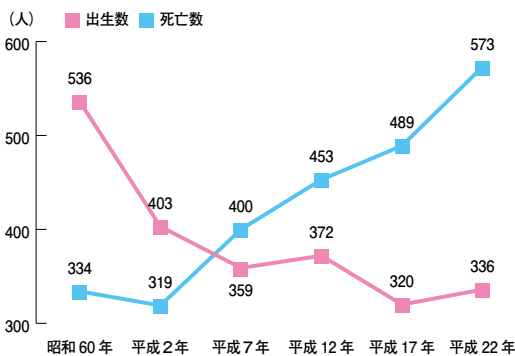
求められる子育て支援策

日本では、出生率の長期的な低下傾向を背景に少子化が急速に進んでいます。子育てに対する負担感や厳しい社会経済状況での経済的不安定、女性の家庭外労働や活動意欲の向上、仕事と子育てを両立できる環境が整っていないことなどが原因として考えられます。このまま少子化が続くと経済社会全体に影響を与えることにもなりかねません。

中間市も同様で、出生数の推移を見ると平成22年は昭和60年に比べて6割ほどに減少しています(下図参照)。そこで中間市では、「子育てをする」という意義を見直しながら、安心して出産、子育てができるよう

な環境を築くために、子育て家庭を支えることを目的としたさまざまな支援対策を行っています。

出生数と死亡数の推移



中澤咲葵ちゃん(大根土)



そばにいるね

どれだけ体重が増えたかな。



安心してほしい

産前産後のサポートはまかせてね

産前産後は健康管理や育児に対して不安になりがちです。その不安を解消するために行われている訪問事業。保健師が安心をお届けしています。

保健師が行く

11月9日、山田顕史さん宅を濱田保健師が訪問しました。9月に生まれたばかりの一葵ちゃんと母親のともさんの様子を

見るためです。この日は、家族全員で訪問を迎えてくれました。保健師は、母子健康手帳を確認しながら、「変わりはないですか?」「気になることはありませんか?」と様子を尋ねます。体重を測定し、成長を確認。「大きくなったね」と、みんながその成長を喜びます。

授乳の時間や頻度など、さらに細かく質問した後に健診や予防接種を案内すると、ともさんから予防接種の接種順序や小児科についての質問が。保健師が丁寧に説明すると、ほっとしたような表情を見せてくれました。1時間足らずの訪問ですが、時折、世間話を交えながら、和やか

な雰囲気が進みました。このように、保健師は各家庭を訪問して母子の様子を細かく確認し、家族に安心を届けているのです。

保健センターの子育て応援

保健センターでは、このほかにも妊婦さんを対象とした母親学級や夫婦を対象とした両親学級を開催しています。ここでは、栄養士や保健師からの妊娠中の過ごし方や食事の話、お風呂の入れ方実習が行われています。

また、親子で遊べるすくすくあかちゃん広場、わんぱく広場では、保育士による歌遊びや親子遊びなどが行われていて、多くの親子でにぎわっています。ほかにも乳幼児健診や各種予防接種事業など、さまざまな子育て支援を実施している保健センター。妊娠や育児、発育に関する悩みなどの相談にも応じていますので、気になることは相談してください。

安心をお届け

安心してもらうことが一番 ● 保健センター

子育ての疑問や悩みを持っている人は多いですね。特に多いのはお子さんの体重のことや予防接種の相談、育て方がこれでもいいのだろうかという疑問。そのため、訪問したときに母子の様子を確認し、食事や子育ての環境などを細かく質問したうえで、丁寧に説明しています。「普通のことだからそのままいいですよ」と声をかけたときに、ほっとするお母さんたちの表情を見ると私たちも安心できます。母親が不安だと子育てはうまくいきません。安心してもらうことが一番ですね。

■妊娠中や育児の相談
保健センター
☎(246)1611

訪問している保健センタースタッフ
前列左から渡邊一美、濱田亜希子、池田富美子、後列左から秋根美穂、高瀬恵子、丸山千恵

話を聞いて一安心

保健師さんが訪問に来るということで、気になることや聞きたいことを事前に準備していました。予防接種のことなど詳しく親切に話をしてくれるのでわかりやすかったし、気になっていたこともごく一般的なことだとわかり、ほっとしました。

山田 顕史さん、ともさん、直央ちゃん、一葵ちゃん (鍋山町)





子育て支援センター「くるり」

明るく楽しい雰囲気、親子がたくさんだよ。

子育てを楽しむために

子育てを始めると、孤立感やストレス、不安、悩みなどを抱えることは少なくありません。そんな思いを解消する場所が子育て支援センター「くるり」(以下…子育て支援センター)です。ここでは、地域の子育て支援の拠点として、親子の交流などで健やかな育ちを促進しています。

だれもが気軽に集えて、相互交流ができる子育て支援センター。子育てを楽しむために、このような子育て支援サ

気軽に集まって話をしようよ

友だちを作ろう

楽しみながら子育てができる環境がここにはあります。その名も子育て支援センター「くるり」。毎日たくさんの親子が集まっているよ。



- 開館日 月曜・火曜・木曜・金曜日
- ※祝日、年末年始は休館。講座などで午前中閉館することがあります。
- 開館時間 午前10時～午後3時
- 所在地 蓮花寺三丁目1-3(市民図書館横)
- 問合先 ☎(245)5557

地域の居場所

ービスを活用してみてはいかがでしょうか。

子育て支援センターでは、子育てに関する情報やさまざまな子育て講座など、親自身が子育てを学ぶ機会を提供しています。また、同じように子育てに励んでいる人たちが利用しているの、親同士のつながりができ、お互いの情報交換をしたり、悩みを相談したり、子育ての先輩からのアドバイスをもらったりすることができるよう所なのです。

ワイワイ楽しい雰囲気の中、みんなで支え合いながら子育てができる環境がここにはあります。子育てに励む人たちの地域の居場所として機能しているのです。

遊びに
おいでよ

気軽に遊びに来ませんか ● 子育て支援センター「くるり」

子育て支援センターは、親子で自由に遊べるスペースを開放していて、連日多くの親子が遊びに来ています。ランチコーナーもあるので、お弁当を持参の親子もたくさん。親子遊びを楽しんだり、子育ての話を聞いたり、みんなで楽しみながら参加できる講座もたくさん開催しています。お子さんや、お母さんにとっても新たなうれしい出会い

があるかもしれません。地域の子育て支援の拠点として、たくさんの子育て仲間が集まって、楽しい雰囲気で見守れるような広場作りをしたいですね。子育てに関する悩みや相談にも応じていますので、気になることがあれば気軽に相談してください。



子育て支援センタースタッフ
前列左から嶋田由嘉史、小林利恵
後列左から吉山由喜代、土屋美和

ここでの時間は息抜きになるよ

ここに通うまでは、夫が帰宅するまで話し相手がいなかったが、今ではたくさんのお話し相手や相談相手になりました。先生は親身になって相談に応じてくれる人ばかり。先生やママ友と話をしている時間は息抜きになります。

和田 貴世さん
藍汰ちゃん
奏汰ちゃん
(長津一丁目)



アットホームな雰囲気だよ

中間市に転入してきて、広報紙でこの場所を知りました。ママ友を作りたい、いろいろな情報を知りたいので利用するようになりました。今ではママ友もたくさん。みんなで子どもを見守るアットホームな雰囲気がとてもいいですよ。

角 早沙さん
心温ちゃん
(通谷一丁目)



気持ちにゆとりができるよ

家で1人で子育てをしていたころは、ストレスや悩みを1人で抱えていました。ここでママ友ができてからは、みんな同じようなことで悩んでいることがわかり、共感できることばかり。それから気持ちにゆとりができ、子育てがもっと楽しくなりました。

今橋 歩由美さん
直保ちゃん
(小田ヶ浦二丁目)



うれしいわ、楽しいわ

広がる輪

子育て支援センターに来れば、たくさん友だちができる。世間話で大笑いしてもよし、愚痴をこぼしてもよし。よき理解者がここには集まります。

転入者にはおすすめだよ

親子で友だちを作ろうと利用するようになりました。転入してきて土地勘もない私に、ママ友がいろいろな情報を教えてくれました。聞く人がいるということが何より心強い。小さなことに悩むことはなくなったし、人の輪が広がりましたよ。


高地 希さん
凜ちゃん
(中央五丁目)



自由に遊ばせることができるよ

自宅で子育てをしていたころは、子どもを遊ばせることも大変でした。なかなか自分の時間が持てず、ママ友もいなかったの、ストレスを感じていたことも。ここは子どもたちを自由に遊ばせることができるし、ママ友と話ができるし、おすすめです。

日渡 未来子さん
芽唯ちゃん
萌香ちゃん
(土手ノ内三丁目)



毎日通うことが楽しみになるよ

以前は、気になることは雑誌で調べていましたが、今はママ友にアドバイスをもらったり、先生に相談したりしています。たくさん人が集まるので、毎日通うのが楽しみです。子どもの人見知りもなくなったこともよかったです。

建石 里美さん
和樹ちゃん
みさとちゃん
(蓮花寺三丁目)





子育てサロンキューピー **親子で遊べる場所はほかにもあるよ** **すくすくあかちゃん広場**

親子で自由に過ごせる部屋を開放しています。

●場 所 ハピネスなかも
●問 合 先 中間市社会福祉協議会
☎ (244) 1230

保育士による歌遊びや親子遊び、保健師による育児相談などを行っています。

●場 所 保健センター
●問 合 先 保健センター
☎ (246) 1611



子育てサロン キューピー

子育て親子と地域の人のつながりの場所になってるよ。

子育ては一人じゃないんだよ

地域の支える力

子育ての悩みや不安は、だれでも抱くもの。
中間市には子育てを応援する人たちがいます。
たくさんの方で、地域ぐるみで子育てを応援しよう。

住民同士のふれあいが必要

時代の流れとともに顕著になってきた、人間関係の希薄化や地域への関心の低下。これは、地域の子育てを支援する機能の低下につながっていくとも考えられます。

新しく中間市の住民となる若い世代の人たちのことを考えると、近隣との付き合いや交流の場が少なく、親子だけで孤立することからストレスが高まり、放置すれば児童虐待の発生という事態も懸念されます。そうならないためにも、地域の人たちが子育てで家庭に関心を持ち、日ごろから挨拶や声をかけをするなど、住民同士の交流とふれあいが必要です。

子育て支援ボランティアの活動

みなさん、子育て支援ボランティアをご存じですか。子育て支援ボランティアは、「子育ての先輩」「地域住民の先輩」として、子育て中のお母さんやお

父さんを応援しています。

中間市にも多くの子育て支援ボランティアが活動しています。その一つである「子育て支援キューピー」では、親子が集う場所となる子育てサロンの開催やバザー・コンサート・子育て講座などの自主活動、イベント開催時の託児サービスなどを行っています。

アットホームな雰囲気の中で、親子が心豊かに成長するための応援隊として活動しているキューピー。ときに先輩として温かいアドバイスで励まし、とくに友人のように親身に相談相手となる。地域の中には、このように少しでも子育てを楽しんでいられる人たちがいるのです。

子育て支援キューピー

親子の笑顔を守っていききたい

「キューピー」とは「親(parents)」を「救う(キュー)」という意味があります。親の気持ちを救うことが、子どもたちを救うことになります。将来を担う子どもたちのため、子育てを頑張っているお母さんたちのために、親子の笑顔を守っていききたいと思います。

私たちは、人を大切にしたいという思いでつながっています。ふるさと中間市を大切に、中間市が子育てしやすいと思われるまちをめざしていききたいですね。子育てに不安を持ち、一人で悩んでいるお母さんのそばにいて、安心を感じてもらえれば嬉しいですね。



子育て支援キューピースタッフ
前列左から三角由紀子さん、丸山照子さん
後列左から大淵恵理子さん、重光恵理さん



もしも
悩んだら

悩んでいる人の気持ちに寄り添いたい ● こどもと福祉の課家庭児童相談係

私たちは、中間市独自の取り組みである未就園児訪問を行っています。これは2歳以上の幼稚園や保育園に通っていない就学前の子どもがいる家庭の訪問です。また、保健センターと連携し、子育てに悩んでいる家庭の訪問や、多くの機関が連携を取りながら親子の成長を見守る「中間市はばたけ子ども・ネットワーク」を通じて、地域全体で親子の健やかな成長をサポートしています。

子育てで孤立すると、相談する相手がいなくて不安になります。そこで私たちが聞き役・相談役となり、いろいろな話をすることで安心感をもってもらうことが大切だと思っています。お母さん

が元気がないと子どもは元気に育ちません。これからも「子育てで悩んでいませんか」「元気に過ごしていますか」と声かけし、お母さんの気持ちに寄り添っていきたいですね。

■子育てに関する各種相談

●子育ての悩みや相談

子育て支援センター「くるり」

☎(245)5557

●妊娠中や育児の相談

保健センター ☎(246)1611

●発育や発達の相談

親子ひろばリンク ☎(244)0742

●子育てに関する相談

こどもと福祉の課 ☎(246)3515



前列左から舩添明美、立花美穂、東かおり
後列左から木村千賀子、蛙田由美

福岡県が行っている「子育て応援宣言企業」登録制度。これは子育てをしながら働き続けることができる社会の実現を目指して、経営トップ自らが従業員の仕事と子育てを応援することを宣言するものです。具体的には、育児休業を取得しやすい環境作りや職場復帰に向けたサポートの実施などを行っています。中間市の登録事業所は11社(11月28日現在)。企業も子育てに頑張る親を応援しているのです。

企業のサポート

ほくほく夢ネット(北校区連携事業)では、さくら保育園と北小学校、北中学校、そして地域の人たちが一体となり、生まれてから中学校を卒業するまでの15年間で、地域全体で支えようと活動しています。地域のつながりが希薄化していると言われる現在、さまざまな人たちが連携・協働して子育てを応援しているのです。

子どもを生み育てるためには、地域ぐるみでの支援が不可欠です。地域で気軽に声をかけられる関係を築き、地域の子どもとして認識されることが大切だといえます。

保・小・中・地域の連携

山一建設株式会社

安心して働けるように

出産や育児のために退職した社員の復職支援や育児や子どもの看病、学校行事への参加のための休暇・早退などの取得がしやすいような職場作りを行っています。従業員を大切にすれば、従業員も頑張ってくれます。そうすると会社としても体力がつかます。福岡県が進めている「子育て応援宣言企業」登録制度には、私たちの考え方と同じだったので登録しました。このような取り組みが、もっともっと広がっていくといいですね。

職場にはこの制度を利用している従業員も多く、「すごく助かる」という声を聞きます。従業員が安心して子育てをしながら、勤められるようにこれからもサポートを続け、応援していきたいですね。

代表取締役社長
南野戦治郎さん、
篠澤昭子さん



ほくほく夢ネット

人のつながりと交流を大切に

私たちは、環境保全活動や保育実習などを通じて、子どもたちの自尊感情やコミュニケーション能力を高めるような活動を行っています。さまざまな場所で多くの人が集まり関わる機会があるので、すぐに顔を覚え、声を掛け合うような関係が築けていきます。

大切なことは「つながり」と「交流」。安心して子育てができ、子どもたちが健やかに成長するためには、大人から子どもまでが世代を超えた交流をすることです。そこから人と人のつながりができ、子どもたちの地域に対する愛情が芽生えるものだと思います。これからも地域の力で子育ての中心である家庭を支えていきたいですね。

ほくほく夢ネット事務局
左から清水ちづるさん(北小学校)
中村滋さん(北中学校)
山本友子さん(さくら保育園)



子育ては女性だけがするものじゃないよ

家族の力は無限大

子育ては女性だけがするものではありません。子育ての中心となるのはあくまで家族。家族の協力をなしでは、子育ては語れません。

家族の絆

11月12日、古玉尚弘さんのお宅(岩瀬西町)を訪問しました。古玉さんは、尚弘さん、久美子さん夫妻、歩ちゃん、萌ちゃん、つぼみちゃん、祖母の節子さんの6人家族。尚弘さん

は、時間を見つけては子どもたちと遊んだり料理や掃除などを行っています。「夫婦間で特に役割分担をしているわけではないけど、自然とやれる方がやるようになりました。苦になるようなことはないですね」と尚弘さんは話します。

尚弘さんの得意料理はぎょうざ。家族にも大好評です。料理をするようになった背景には父親の影響があるといいいます。「父は魚釣りが趣味で、釣った魚を帰ってさばっていました。その父の姿を幼いころから見ていたので、男性が料理をするということにまったく違和感を感じませんでした」。

仕事の関係で、何日も子どもたちと話をする機会がないときは、子どもたちが手紙を書いてくれます。「パパ頑張ってるね」「おつかれさま」。短い言葉だけでも嬉しさと尚弘さんの顔がほころびます。

「家事や育児に協力的なので、自分の時間が持てるし、すごく助かります。ぎょうざ作りのときは家族全員で楽しんでますよ。家族全員が同じ時間を過ごすことができるってすごくいいことですよ」と久美さんは話します。

難しいことをする必要はありません。できることから始めていけばいいのです。



パパ

家事や育児で特別なことをしているつもりはありません。妻の方が家事や育児を頑張ってくれていますので、力仕事や高い場所の掃除など、男性の方が楽にできることはやるようにしています。夫婦お互いがやってあげているという感覚じゃなく、やれる方がやるという考えの方が気が楽だと思います。

妻が勤めに出ることは賛成です。外に出ていろいろな人と接することは、社会との関わりを持つという意味でもすごくいいことだと思います。できる範囲のことをこれからもやっていきたいですね。

左から萌ちゃん、尚弘さん、歩ちゃん



ママ

夫は、ちょっとした時間を見つけて家事や育児に協力してくれるので、とてもありがたいですね。疲れているようなので休んでもらいたいと思うのに、子どもたちと過ごす時間を大切にしてくれています。だから子どもたちもパパが大好き。家にいるときはつききりですよ。夫は私の話をしっかり聞いてくれるし、考え方をわかってくれます。私が勤めに出ることも快く賛成してくれました。家事や育児に協力してくれるし、考えを尊重してくれるから、肉体的にも精神的にも楽になっています。夫婦間のコミュニケーションって、何より大切ですよ。

久美子さん、つぼみちゃん



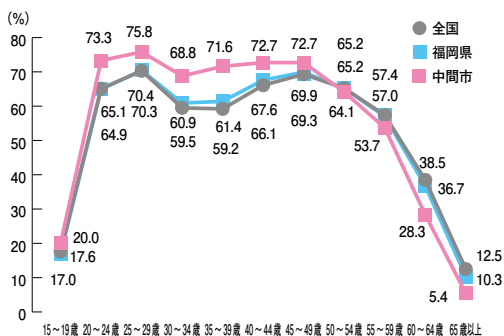
できることをやっています

相手を理解することって大切

女性の年齢階層別労働力率

女性の労働力率を年齢階層別にみると、子どもがある程度大きくなるまでは子育てを優先したいと考えている人が多いという実態もありますが、働き続けたくてもその環境が十分ではないために、仕事を辞めざるを得ない女性がいることが考えられます。しかし、中間市は30歳代が国や県に比べ高く、女性の社会進出が進んでいるといえます。働きたいと望む女性が家庭生活と職業生活を両立し、結婚、出産、育児期にも継続して働くことができる社会環境の整備を図ることが必要です。

※労働力率とは、就業者数と完全失業者数を合わせた労働力人口が、15歳以上の人口に占める割合のことです。



時間がある日は子どもたちといつも一緒。ごく普通のありふれた日常です。



男女共同参画の観点

お互いの個性を尊重して ● 人権男女共同参画課

家庭の中で、男性が絶対的だったのは昔の話で、近年では、イクメンと呼ばれる積極的に育児や家事を率先して行う男性が増えてきています。この背景には、女性の社会進出などにより男女の性別役割分担意識が徐々に変わってきていることがあります。

しかし、働きたくても育児や家事の負担で働けない女性は多くいます。企業の理解により、女性だけでなく、男性も育児休暇を取得している場合がありますが、取得しているのはごくわずか。子育てしやすい環境を整えるには、男性が育児休暇を取得しやすいような職場環境を作ることが必要であり、これは社会全体の問題といえます。

身近な家庭では、男性だから、女性だからということではなく、お互いの考え方や個性を尊重し、育児や家事などに対して夫婦が対等な立場で協力し合うことが大切なことなのです。

中間市では、福岡県と協力し、子育て女性の就職活動がスムーズにできるよう、就業相談や情報提供を行っています。希望する人はお問い合わせください。

「子育て女性再就職支援」

出張面接相談

- 日 時 毎月第2金曜日・午前10時～午後4時
- 場 所 人権センター
- 問 合 先 人権男女共同参画課 ☎(245)7801

人権男女共同参画課男女共同参画係長 平池 千里

おばあちゃんのサポート

「私が勤めていたころは、お義母さんに食事の準備をしてもらったり、子どもの迎えに行ったりしてもらっていました。お義母さんのサポートがなければここまでやってこれなかったと思います」。久美子さんは節子さんの存在が大きいと言います。

子育ての大変さを経験しているからこそ、祖父母は親にとってもよき理解者になってくれます。子育てをしながら働いている親にとって、祖父母は、良きサポーターであり、かけがえない存在といえるでしょう。

節子さんのコメント

子育ての基本はあくまで両親

私が現役で子育てをしていたころは、男性が家庭のことで仕事を休むことはほとんどなかったように思います。私は親と離れて暮らしていたので、子どもを見てもらうということもなかなかできず、私自身も子育てをしながら働いていたので、女性が大変だということや苦労はよくわかります。

今は、私の子どもたちにできなかったことを孫たちにしてあげたいという思いだけ。孫たちとは編み物と一緒にしたり、お手玉やあやとりで遊んだりしていますよ。身近にいるから孫の成長が見れるということが喜びであり、楽しみですね。あくまで子育ての基本は両親。私はそのサポートをしているだけです。

親子の幸せを願う

中間市では、さまざまな子育て支援策を実施中。子育てに励む人、これから子育てを迎える人を全力でサポートしています。

次世代育成支援行動計画

中間市は、平成17年3月に次世代育成支援行動計画(前期5か年)を策定し、平成22年3月に後期5か年の行動計画を策定しました。この計画は、「地域の和による子育て・子育てを支えるまち なかま」を基本理念に、家庭や地域、学校、企業、行政が一体となった取り組みを推進していくものです。この計画に基づき、子育て支援センターの創設や一時預かり保育の実施など子育てをするうえでの環境整備を進めてきました。

中間市が誇る子育て支援

中間市では、安心して出産や子育てができるように、さまざまな取り組みを進めています。妊婦を対象とした妊産婦健診は、公費負担で14回サポート。また、本とのふれあいの中で、豊かな感性を持つ子どもたちを育むために行っている「ブックスタート事業」を今年

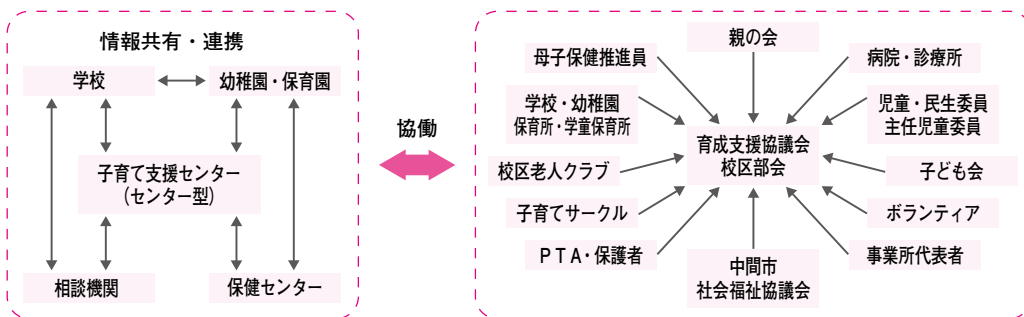
度からサードブックまで拡充。さらに、家計の負担軽減のために、保育料を福岡県内で低い水準に保ち、乳幼児医療費の公費負担は小学校3年生までを対象としています。ほかにも、学童保育を市内7箇所を設置し、親が安心して働くことができる環境を整えています。

これからもさまざまな機関と連携し、より総合的な子育て支援ネットワークを築いていきます。

中間市の子育て支援策

1. 妊産婦健診を公費負担で14回サポート
2. ブックスタート事業をサードブックまで拡充
3. 保育料を福岡県内で低水準に設定
4. 乳幼児医療費の公費負担を小学校3年生まで対象
5. 学童保育を市内7箇所に設置

子育て支援ネットワークのイメージ図



先生にインタビュー

みんなで子育て家庭を支えよう

●上村 初美さん 中間市次世代育成支援対策地域協議会会長

家族の形態が変わり、子育てで頼る人がおらずに孤立したり、家から一步踏み出せず苦しんだりしているお母さんたちはたくさんいます。子育てで孤立した環境にならないように、地域全体を巻き込んだネットワークを構築し、行政が中心となって、さまざまな情報を発信しながら地域の和による支援をしていくことが大切です。「みんなで育てる」という意識を市民全員が持ち、行政と地域が協働して子育てを支援することが、子育てをしている親子の安心につながるといえます。

また、乳幼児期は人格形成においてとても大切

な時期です。その時期の親子への関わりとして、2歳時期にも健診を行い、子どもの発達を見たり、悩んでいる人たちへ声かけをしたりすることも必要ではないでしょうか。

子育ての核となるのは家族であり、大人は子どもにとってのモデルです。たくさんの愛情を受けて育つ子どもは、人を大切にできる心豊かな子どもに成長します。そのためには、子どもとしっかり向き合い肌と肌が触れ合うスキンシップを図ること。親自身が子育てを楽しんでいるともらえるような子育て環境をみんなで作っていきましょう。

■プロフィール■

平成9年から福岡県保育協会保育士会会長を務め、平成23年5月からは全国保育士会会長を務める。砂山保育園主任保育士。「子どもの視点を大切に」をモットーとする。





そばにいるね

もうじきパパとママになるよ。待ち遠しいね。

新たな生命との出会い

出産を控えた親は期待と不安が入り混じっています。もうじき出産を迎える大久保正義さん、夢香さん夫婦に現在の思いを尋ねました。

夢 Q

妊娠中はどうでしたか

つわりがとても激しかったんです。お腹が大きくなくてからは、ちょっと動く息切れするし、やっぱり妊婦さんって大変ですね。でもそのとき夫が家事などにすごく協力してくれたんです。とても嬉しかったです。

正 Q

子育てに不安はありますか

実家が近くなので、何かあったら任せてくれと言われていました。家族のサポートがあると心強いですね。それに、周りの友人には子どもがいるので、わからないことがあったら何でも聞いてアドバイスしてもらいたいです。聞ける人が身近にいるから助かりますよ。

正 Q

お二人は両親学級に参加したそうですね

お風呂入れや着替えなどの実習を体験したんですが、慣れないことなのでとまどいましたね。練習は人形だったけど、今度は自分の子どもだからドキドキしますね。

夢 Q

私に通っている病院では、母親学級があったんです。

でも子育ては2人ですものだから、2人で両親学級に参加できてすごく良かったです。保健師さんの話も聞いて、これからのことを考えるとすごく勉強になりました。

夢 Q

ママ友はできそうですか

子どもが生まれて少し落ち着いたら、外に出て子育てがしたいと思っています。子育て

正 Q

どんな父親になりたいですか

て支援センターがあることがわかったので、ぜひ行ってみたいですね。ママ友を作りたいです。

正 Q

イクメンになる予定です。

今は妻に頼っているところが多いので、子どもが生まれてからはできる限りのことはやりたいです。仕事の関係で休みが限られるけど、休みのときは子どもとずっと一緒にいたいですね。その前に出産ですけど、職場の人からは絶対に立ち会うように言われています。理解してくれているからありがたいですね。

生まれてくる子どもにも思い出をたくさん残してあげたいと話す正義さんと夢香さん。新たな生命が2人に、そしてこの中間市に誕生します。

大久保 正義さん、夢香さん(長津二丁目)

出産予定は12月8日。今号が発行されたころには、新たな家族が増えているかもしれません。



編集を終えて

「以前は話し相手もいなかったもので、テレビに話しかけてました。今では笑い話ですけど、当時は笑えませんでしたね」。取材中にあるお母さんが笑顔で話した言葉です。この話を聞いたとき、今の笑顔が見ることができて本当に良かったと思います。同じように子育てで悩んでいる人や子育ての大変さをわかってくれる人との出会いが、このお母さんを変えてくれたのでしょう。

子育ては楽しいことばかりではなく、苦しいことや辛いこともあると思います。そんなときでも、すぐそばには愛する子どもや家族がいます。支えとなってくれる人たちがいます。

将来の中間市を担っていくのは、子どもたちです。親子がいつまでも笑顔でいられるように、すぐそばで支えていくことが、明るい中間市へつながっていくのではないのでしょうか。(謙)

「なかまるしえ」に遊びに来ませんか

●問合先 総合まちづくり課
☎(246)6234



すてきな商品がいっぱい。



この看板が目印です

店内は手づくり感が出ている雰囲気です。一度遊びに来てみませんか。

「なかまるしえ」では、市内で作られている特産品や中間市キャラクター「なかっぱグッズ」の販売コーナーを設置しています。

また、会場内にはなかま神社を設置していますので、家族や友だち、カップルなどでぜひお参りしてください。かわいいなかっぱのおみくじや、お守りも販売しています。

同時に、会場では義援金活動も行っています。募金していただいた人には、紙コップに東北への応援メッセージを書いていただいています。この紙コップは、12月17日～18日に紙コップ灯籠として展示する予定です。

すのでお楽しみに。

なお、「なかまるしえ」での売上の一部は、義援金として送金します。

●場 所 ショップパース モールなかま横イルミネーション会場内

●開設期間 平成24年1月15日(日)までの毎週土曜日、祝日

※年末年始は休みます。都合により急遽休むことがありますので、事前に確認をお願いします。

●開設時間 午後3時～9時

●販売商品 ほのほの味噌、なごみ味そ、中間銘菓(さくらの里大福、さくらの里わらびもち、ささぎつね)、ハーブティーなど

平成22年国勢調査人口等基本集計結果を公表します

●問合先 総合まちづくり課
☎(246)6234

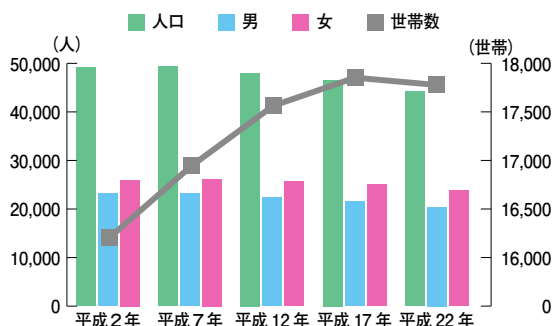
(各年10月1日現在)

| 年次(平成) | 人口(人) | 男(人) | 女(人) | 世帯数(世帯) |
|--------|--------|--------|--------|---------|
| 2年 | 49,216 | 23,232 | 25,984 | 16,149 |
| 7年 | 49,353 | 23,182 | 26,171 | 16,924 |
| 12年 | 48,036 | 22,343 | 25,693 | 17,576 |
| 17年 | 46,560 | 21,555 | 25,005 | 17,880 |
| 22年 | 44,210 | 20,428 | 23,782 | 17,801 |

平成22年10月1日を調査日として実施した、日本国内に住むすべての人・世帯を調査する国勢調査の人口などの基本集計結果が、総務省統計局から公表されましたので、お知らせします。調査期間中、調査票にご回答いただき、ありがとうございました。



国勢調査の詳しい内容は総務省統計局のホームページを見てください。
○ホームページ
<http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2010/index.htm>



総務省統計局から公表されましたので、お知らせします。調査期間中、調査票にご回答いただき、ありがとうございました。



Topic & Information

年末年始のごみとし尿の収集は休みます

- ごみの休み期間** 12月31日(土)～1月3日(日)
※12月30日(金)は通常どおり、もえるごみの収集をします。
※遠賀・中間リレーセンターへの自己搬入は12月30日(金)・午前11時30分までです。12月31日(土)～1月3日(日)は、遠賀・中間リレーセンターが休みのため自己搬入できません。
※粗大ごみの受付は、12月28日(木)までです。12月29日(金)～1月3日(日)は休止となります。
- 12月の祝日などに伴う振替日** 12月23日(土)天皇誕生日のもえないごみの収集地区は、30日(金)に振り替えます。もえるごみの収集はありません。
- し尿の休み期間** 12月29日(金)～1月3日(日)
※正月の来客などで、年末の臨時収集を希望する場合は、12月16日(金)までに環境保全課に申し込んでください。12月17日(土)以降は直接業者へ連絡してください。ただし、業者の受付は12月22日(木)までです。
※休み期間中は、し尿収集は一切できませんので、早めに便槽の確認をお願いします。
- 年末年始の犬猫の捕獲、引き取りは休みます**
- 休みの期間** 12月27日(木)～1月4日(日)
※引き取りの時間など詳しくは、宗像・遠賀保健福祉環境事務所〔☎0940(36)6098〕にお問い合わせください。

●**問合せ** 環境保全課☎(245)5300

健康づくりサポート教室

無料ですのでお気軽にご参加ください。

- 日時** 平成24年1月11日(日)・午後1時30分～2時30分(受付は1時～)
- 場所** 保健センター
- 内容** 医師の講話「生活習慣と糖尿病・慢性腎臓病」
- 持ってくるもの** 筆記用具、健康手帳
- 申込締切** 平成24年1月10日(日)
- 申込先** 保健センター

●**問合せ** 保健センター☎(246)1611

はじめのじいちゃんセミナーを開催

●**問合せ** じいちゃん福祉の課

☎(246)3515

初めてお母さんになったあなた、ベビーマッソーやわらべ歌であかちゃんとのスキンシップを楽しみませんか。
ママさん同士のおしゃべりタイムもありますので、参加してみませんか。

●**期 日** 平成24年2月1日(土) 3月7日の毎週水曜日(全6回)

●**時 間** 午後1時30分～3時30分

●**場 所** 保健センター
●**対 象 者** 第1子が平成23年9月1日～12月1日生まれのお子

さんとママ・10組

※原則として6回参加できる人が優先です。申込者が定員を超える場合は抽選とし、当否の連絡をしますので、連絡がない場合はお問い合わせください。

●**参加料** おやつ代600円(100円×6回)

●**申込締切** 1月10日(日)

●**土曜・日曜日、祝日、12月29日～1月3日は受付できません。**

●**申込先** 子育て支援センター ☎(245)5557

病院ボランティアを募集します

●**問合せ** 中間市立病院

☎(245)0980-1

中間市立病院では、患者さんがより安心して治療に臨めるように、市民と病院の協働による明るい患者サービスの提供と地域福祉の発展を目的に、新たに病院内で無償ボランティアを行う方を募集します。



●**活動内容** 患者さんへの支援(病院内の案内、誘導、病棟での話し)

●**活動日時** 平日の午前中 ※曜日や時間は希望により設定できます。

●**応募資格** ボランティア活動に理解があり、患者さんのプライバシーを守れる人で心身ともに健康で継続して活動ができる人 ※簡単な面接などを行います。 ※中間市に居住していない人でも応募できます。

●**募集期間** 随時受付
●**応募先** 中間市立病院

あたたかい光あふれる新名所

11月18日・イルミネーション点灯式

イルミネーション点灯式がやすらぎ通りで行われました。約500人が集まり、なかま地ビールで乾杯。大いに盛り上がりました。このイルミネーションは、消費電力の少ないLED電球を使用し、平成24年1月15日まで点灯されます。イベントの多いこれからの季節、あなたも一度訪れ、13万個の光に包まれてみませんか。

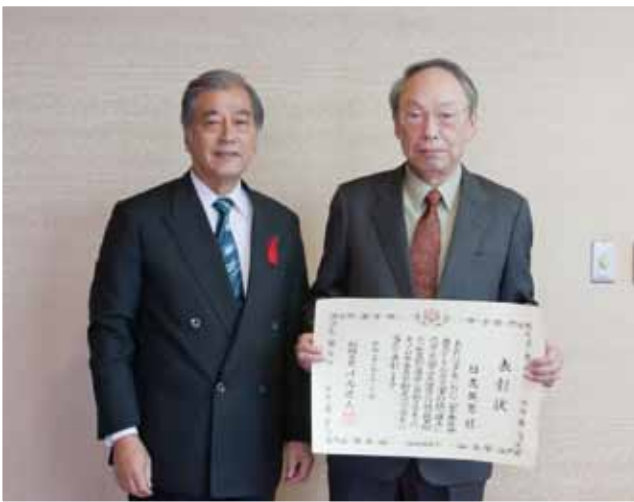


このコーナーでは楽しいイベントや地域の話などをお届けします。

公平な社会づくりのため尽力

日高英男さん（扇ヶ浦一丁目）が総務大臣表彰を受賞

10月28日に笹川記念会館（東京都）で開催された「公平委員会制度60周年記念総務大臣表彰式」で、日高英男さんが表彰されました。今回の表彰は、公平委員会の委員として10年以上勤労したことが評価されたもの。日高さんは10月31日に市役所を訪れ、松下俊男市長に受賞の報告を行いました。



パワーをもらった作品展

11月7日～11日・おじいちゃんとおばあちゃんの作品展

11月11日の介護の日にちなみ、「おじいちゃんとおばあちゃんの作品展」が開催されました。市役所ロビーには、趣味やリハビリで作成された手芸などの作品がずらり。打和みよ子さん（小田ヶ浦二丁目）は「高齢の人でも根気があるし、何かするから元気になる。自分もまた手芸を始めようかな」と作品に見入っていました。





大先輩、贈りものをありがとう

11月10日・中間北小学校、北中学校で寄贈品贈呈式

コカ・コーラウエスト株式会社（末吉紀雄代表取締役会長）が、中間北小学校、北中学校に一輪車や書籍代などを寄贈しました。末吉さんは、中間北小、北中の卒業生。「今は私が子どもだったころと違い、努力が報われる時代です。勉強やスポーツなどしっかり頑張ってください」と笑顔で激励。北中学校生徒会副会長の松山侑真さんは「会長が卒業生と知り驚きました。先輩から贈りものをいただき感謝しています」と語りました。



少しでも川をきれいにしたい

10月30日・曲川清掃

今回で10回目を数える曲川清掃。これは、市民のみならず企業、ボランティア団体などの協力で曲川を少しでもきれいにしようという取り組みです。回を重ねるごとに参加者が増え、今回は30団体、総勢180人が参加しました。大粒の雨が降る中にもかかわらず、参加者は川沿いに捨てられた空き缶や家庭ごみ、川の中からは自転車を回収。今回の清掃で、曲川はまた美しさを取り戻したことでしょう。



サクソフォーンでグランプリ受賞

植村龍太郎さんが「ピアノと歌と管弦のコンクール」でグランプリ

8月30日に東京都新宿区で行われた「ピアノと歌と管弦のコンクール」で、管楽器サクソフォーン奏者の植村龍太郎さん（池田一丁目）がグランプリを受賞しました。植村さんは、「中間東中学校の吹奏楽部でサクソフォーンを始めたのがきっかけです。今は仕事もしていて、なかなか練習時間がとれない中での受賞だったので、びっくりしたし嬉しかったです」と気さくな笑顔で語ってくれました。



暴力を追放し安全と安心を

11月14日・中間市暴力追放市民集会・防犯大会

中間市暴力追放市民集会・防犯大会がなかまハーモニーホールで開かれ、500人以上の参加者が集まりました。中間市防犯協会会長の池田久紀さんは「暴力団を恐れず、暴力団に金を出さない、暴力団を利用しないを徹底し、安全で安心して暮らせる活力ある中間市を実現しましょう」と決議を力強く読み上げました。その後、参加者はやすらぎ通りまで行進し、通行人に暴力のないまちづくりを呼びかけました。

もえるごみ搬入量状況

平成23年度のもえるごみ搬入量は、対22年度比5%の減量を目指しています。ごみの減量化・資源化にご協力をお願いします。

| | 23年度 | 22年度 | 差(23年度-22年度) | 減量率 |
|-----|-------------|-------------|--------------|-------|
| 10月 | 965,300kg | 962,950kg | 2,350kg | -0.2% |
| 累計 | 6,991,760kg | 7,128,410kg | △136,650kg | 1.9% |

やっちゃん環境

●問合せ先 環境保全課 ☎(246)6265

環境活動の発表会が 開催されました

10月23日、市民環境会議なまの環境を良くする会主催で、環境活動を行っているボランティア団体の発表会が、ハピネスなまで行われました。約20人の参加があり、参加者からは、「地道に活動を続けてほしい」「まちづくりの視点に結びつけては」との意見が交換されました。



秋の2回、切畑橋から鳴王子橋付近まで実施している清掃活動の紹介

●コメント 「当初は30人足らずの参加者が、今では約30団体200人にまで充実し、中間北小学校・さくら保育園によるEMだんごの投入活動など幅広い年齢層が関わるようになりました」

●発表テーマ やっちゃんエコライフの取り組みなど

●団体 なかまの環境を良くする会

●内容 エコライフデーの成果の紹介と生ごみを減らす実践活動として、ダンボールコンポスト(ダンボール式生ごみ処理機)の紹介。ダンボールコンポストは、屋内で手軽に使用して臭いもあまり気にならないものであるという説明に、参加者は興味深そうにコンポストの中を覗きこみ、生ごみが分解された様子を観察していました

●コメント 「節電や省エネを通じて環境のことを考えながら生活してみようと、中間西小学校から試験的に始めたやっちゃんエコライフ。6年目となる今年の参加者は、中高生などの協力もあり、5,000人を超えました。福岡県内でも唯一の取り組みとして、今後も続けていきたいです」

●発表テーマ 広がっている曲川の環境を守る活動

●団体 曲川を守る会

●内容 平成19年度から春

●コメント 「今年子どもたちの活動参加を呼びかけて、もっと自然環境の大切さを次世代に伝えていきたいです」

●発表テーマ 広がっている曲川の環境を守る活動

●団体 曲川を守る会

●内容 平成19年度から春

はばたけ！市民活動

～ちいさな力を集めて、まちづくり～

NPOにじの会

平成14年、精神障がいについて家族に言えない人や、相談する人がいないなどの悩みを抱えた家族が集まり、お互いの悩みを打ち明け、相談しあえる家族会「にじの会」を発足しました。平成20年12月に家族会をNPO法人化し、障がい者の自立支援と社会復帰を目的とした「れんげじ作業所」を開所しました。作業所では、めがね立ての製作、農園作業、資源回収などの作業を行っています。いつでもご相談ください。

●問合せ先 ボランティアセンター ☎(246)2184

知っ得！

くらしのミカタ

市職員をかたる還付金等詐欺が
再び増加しています

●消費生活相談窓口
☎(246)5110

■事例 今日、突然電話で「市役所の〇〇です。還付金が38,000円あるが6月に書類を送ったのに返事がない。期限がきているが今日の夕方までなら手続きできるので、社会保険事務局に電話してほしい」と言われた。教えてもらった番号に電話したところ、口座番号を聞かれ、振り込むため近くのスパーのATMに携帯電話を持って行くよう言われた。銀行が

■アドバイス 市役所職員が、還付金などの受け取りのためにATMでの操作手続きを行うように連絡することは絶対にありません。電話で還付手続きを急がせたり、わざわざ金融機関以外のATMを指定して携帯電話を持って行くよう誘導された場合は、怪しいと思われる。還付金などについて不審な電話があった場合、警察や消費生活相談窓口などに相談しましょう。

近くにあるのに変だと思い、妻に通帳確認に行かせたところ振り込まれていなかった。

近づくにつれて不安になり、妻に通帳確認に行かせたところ振り込まれていなかった。

くらしの 情報

Information

危険物取扱者試験を 実施します

●期日・場所

- 平成24年2月26日(日)・九州共立大学(八幡西区自由ヶ丘)ほか4会場
- 平成24年3月4日(日)・福岡地区

●試験の種類と受験料

- 甲種……………5,000円
- 乙種全類…3,400円
- 丙種……………2,700円

●申込方法

12月15日(日)から平成24年1月10日(金)(消印有効)までに(財)消防試験研究センターに願書を郵送してください。また、インターネットによる電子申請の受付期間は12月12日(日)～平成24年1月7日(日)です。詳しくは(財)消防試験研究センターのホームページをご覧ください

○ホームページ

<http://www.shoubo-shiken.or.jp>

※願書と受験案内は、中間市消防署にあります。

●問合せ先

消防署

中間市母子寡婦福祉会 年末お楽しみ行事

中間市母子寡婦福祉会では、母子・父子家庭などの児童のためのお楽しみ行事として、ボウリング大会を行います。

●期日

12月26日(日)・午前9時

●集合場所

市民図書館前口1タリ

※帰着時間は午後2時～3時の予定です。

●参加対象

小学生と中学生

●申込締切

12月19日(日)

●申込・問合せ先

市役所売店

(244)1111

第52回中間市卓球大会参加者募集

中間市卓球大会の参加者を募集します。ふるってご参加ください。

●期日

平成24年2月26日(日)・午前9時

●場所

体育文化センター

●種目

団体(自治会単位、3～4人編成)、個人一般、

シニア(65歳以上)、初心者

※それぞれ男女別で行い、初心者は過去入賞者を除きます。

●参加資格

中間市内居住者

●参加料

団体：1チーム1,500円

個人：無料

●申込方法

体育文化センターに備え付けの申込書を提出してください

●申込締切

平成24年2月6日(日)・午後5時

●申込先

体育文化センター

※今回から競技方法などが大幅に変更になっています。詳しくは体育文化センターに備え付けの大会案内、要項、申込書を確認してください。

●問合せ先

中間市卓球協会

古城携帯

(090)6772)0252

戦後強制抑留者に 特別給付金を支給しています

シベリア戦後強制抑留者に対する特別給付金を支給しています。

●対象者

次のいずれかに当てはまる方が条件です

○戦後強制抑留者で平成22年6月16日に日本国籍があるご存命の人

○平成22年6月16日以降に戦後強制抑留者が亡くなった相続人

●受付締切

平成24年3月31日

(日)

※請求書を持っていない人には、請求書類を送りますので、至急お問い合わせください。

●問合せ先

独立行政法人平和祈念事業特別基金事業部

特別給付金担当

0570(059)204

IP電話、PHSからは

03(5860)2748

陸上自衛隊高等工学校 生徒を募集します

平成24年度入校の陸上自衛隊高等工学校生徒を募集します。

●対象

中学校を卒業した(見込みを含む)、15歳～17歳未満の男子

●申込締切

平成24年1月6日(日)

※申込方法など詳しくはお問い合わせください。

●申込・問合せ先

芦屋地域事務所

(223)0981

県営住宅の 入居者を募集します

募集対象団地、募集戸数、申込方法などの詳細は、募集案内をご覧ください。今回は、従来の抽選方式ではなく、ポイント方式として、現在お住まいの住宅環境などの困窮状況を点数化し、点数の高い世帯からあつせんします。

●募集する住宅 福岡県内に所在する県営住宅

●申込期間 平成24年1月10日(日)～18日(日)

※1月18日の消印まで有効。

●申込書配布場所

○中間市役所案内(本館1階)、都市整備課、東部出張所、西部出張所

○福岡県住宅供給公社北九州管理事務所(八幡西区西曲里町2-1)など

※1月10日(日)から配布します

●問合せ先

福岡県建築都市部県営住宅課

092(643)3739

ふくおか農林漁業 新規就業セミナー

農林漁業を始めてみたい人、農林漁業事業体への就職を希望する人を対象に、就業セミナーと相談会を開催します。申し込みは不要です。お気軽にご参加ください。

●期日

平成24年1月7日(日)・午後1時～4時30分

●場所

エルガラホール(福岡市中央区天神一丁目4-2)

●内容

就業情報の提供、個別相談

●料金

無料

●問合せ先

福岡県農林水産部農林水産政策課

092(643)3495

健康管理講習会を開催します

- **日時** 12月26日(日)・午後2時～3時30分
- **場所** 中央公民館
- **内容** 脳卒中を予防し、治療し、よりよく生きる
- **定員** 70人(先着順)
- **参加料** 無料
- **申込方法** 12月20日(木)までに電話で申し込んでください
- **申込・問合せ先** 社団法人中間市シルバー人材センター
☎(246)4528

芦屋基地モニター募集

- **航空自衛隊と芦屋基地に対するご意見、提言などを聴くため、基地モニターを募集します。**
- **対象** 次のすべてに当てはまる方が条件です
- 20才以上の人で、防衛問題と自衛隊に関心がある人
- 公正で建設的な意見を持っている人
- 平日の研修などに出席できる人
- **※** 議会議員および常勤公務員は除きます。
- **期間** 平成24年4月～平成25年3月の1年間
- **定員** 10人
- **申込方法** 郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、生年月日、

職業、電話番号、申込理由を記入のうえ往復はがきで申し込んでください

- **申込締切** 平成24年1月19日(日)・必着
- **申込・問合せ先** 航空自衛隊芦屋基地基地渉外室(〒807-0133遠賀郡芦屋町大字芦屋1455-1)
☎(223)0981

住居・生活困窮者相談支援年末キャンペーン

福岡労働局では、年末に向けて、住居、生活、仕事で困っている人への相談を強化しています。11月から12月にかけて、県内のハローワークに専門相談窓口や情報コーナーを設置しています。また、中高年齢者を対象とした就職面談会での出張相談も行っています。この機会にどうぞご相談ください。 ※詳しくはお問い合わせください。

- **問合せ先** 八幡公共職業安定所
☎(622)5566

養育費に関する電話相談を行っています

福岡県母子家庭等就業・自立支援センターでは、母子・父子家庭や離婚協議中の人を対象に、養育費の電話相談業務を実施しています。相談を希

望する人は、ご連絡ください。

- **問合せ先** 福岡県母子家庭等就業・自立支援センター
☎0948(21)0390

求職者支援制度が始まりました

求職者支援制度は、雇用保険を受給できない求職者に、無料の職業訓練(求職者支援訓練)を実施する制度です。また、収入や資産などの一定要件を満たす場合は、訓練期間中に職業訓練受講給付金を支給し、ハローワークが積極的な就職支援を行い、早期の就職をめざします。 ※詳しくはお問い合わせください。

- **問合せ先** 八幡公共職業安定所
☎(622)5566

クレジット・サラ金・ヤミ金無料電話相談

クレジット・サラ金・ヤミ金に関する相談に司法書士が応じます。

- **日時** 毎週月曜～金曜日の午後6時～8時
- **相談方法** 電話による相談
- **相談電話番号**
☎092(724)9505
- **問合せ先** 福岡県青年司法書士協議会
☎092(283)3080

中間市・遠賀郡の指定ごみ袋に掲載する広告を募集します

平成24年度中に作成する「もえるごみ(大)・(中)の袋」に掲載する広告を募集します。

- **予定数量・広告の大きさ・募集数**
- もえるごみ(大) : 265万枚
- (縦) 80mm×(横) 380mm・4枚
- もえるごみ(中) : 120万枚
- (縦) 80mm×(横) 280mm・2枚
- **広告掲載料(1枚)**
- もえるごみ(大) : 20万円
- もえるごみ(中) : 10万円

- **広告掲載の開始予定時期**
平成24年4月以降
- **※** 組合や各販売店の在庫状況により、掲載袋の販売開始がずれることがありますのでご了承ください。1社が申し込むことのできる広告の数は、袋の種類ごとに1枠です。応募多数の場合は組合で選考します。
- **応募方法** 申込書に広告の原稿を添えて、遠賀・中間地域広域行政事務組合へ提出してください
- **募集期間** 12月16日(金)～平成24年1月6日(金)・午後5時
- **※** 申込用紙設置場所など詳しくはお問い合わせください。
- **応募・問合せ先** 遠賀・中間地域広域行政事務組合
☎(293)3581

住宅型有料老人ホーム **あすなろ中間**

式号館 計画中

空室残りわずか

～住み慣れた町で安心して暮らしませんか?～

| 入居時費用 | |
|-----------|-----------------|
| 入居申込金 | 100,000円 |
| 敷金 | 96,000円 |
| 月額料金 | |
| 家賃 | 48,000円 |
| 管理費 | 12,000円 |
| 食費 | 18,900円 |
| 厨房管理費 | 26,100円 |
| 合計 | 105,000円 |

所在地 〒809-0032 中間市中尾1丁目1番25号

問合せ TEL 093-243-3939

※食費は、1か月30日換算、1日3食分の料金です

磨(まる)といっしょに 借金問題・過払い金返還請求

解決方法を考えましょう!!

※ご相談内容は、司法書士法第3条に定められた範囲に限ります。

通話料無料 ゼロをまわしてマロに行こう!

事前に予約下さい 0120-006-215

女性専用無料ダイヤル ゼロをまわしてみんなマロに!

0120-037-062

※女性専用ダイヤルは、平日9時～18時限定です。なお、司法書士は男性ですが、お電話は女性スタッフが対応させていただきます。

磨(まる) 司法書士法人 磨(まる) 法律事務所

〒803-0818 北九州市小倉北区壱町1-6-1 NSビル6F TEL093-592-8862

社員 日高 静男(福岡県司法書士会所属 認定番号第729043号)

(主たる事務所)北九州市小倉北区壱町1-6-1 NSビル6F

ご相談は無料です!

※手続きをご依頼される場合は費用が発生致します。

無料相談コーナー

～気軽にご利用ください～

心配ごと相談

■場所 ハピネスなかま

○日時…1月7日(土)、20日(金)、26日(木)・午後3時～5時(前日まで窓口で予約受付・受付時間は月曜日～金曜日の午前8時30分～午後5時15分・定員10人)

●問合せ 中間市社会福祉協議会 ☎(244)1230

県巡回交通事故相談

■場所 ハピネスなかま

○日時…1月11日(木)・午前10時～午後4時(受付は午後3時まで)

●問合せ 総合まちづくり課 ☎(246)2017

行政相談

■場所 ハピネスなかま

行政への苦情・要望などの相談に応じます。

○日時…1月7日(土)、20日(金)・午後3時～5時

●問合せ 総務課 ☎(246)6232

補聴器相談

■場所 介護保険課・ハピネスなかま

○日時…毎月第1～4火曜日・午後1時～2時…介護保険課(市役所1階)、午後2時30分～3時30分…ハピネスなかま

●問合せ 介護保険課 ☎(246)6282

消費者相談

■場所 産業振興課(市役所別館2階)

悪質商法などでお悩みのときはご相談ください。

○受付 月曜日～金曜日・午前9時～午後4時

●問合せ 消費生活相談窓口 ☎(246)5110

家庭児童相談

■場所 家庭児童相談係(市役所3階)

子どもの養育(しつけ、養育者の問題)など児童に関する相談をお受けします。

○受付 月曜日～金曜日・午前9時～午後5時

●問合せ こどもと福祉の課 ☎(246)3515

悩み・いじめ・教育相談

■場所 少年相談センター(働く婦人の家)

未成年者の非行などに関する相談はこちら。

○受付 月曜日～金曜日・午前9時～午後5時

●問合せ 少年相談センター ☎(246)0484

女性のための悩みごと相談

■場所 人権男女共同参画課(人権センター)

あなたが納得のいく生き方ができるようお手伝いします。

○受付 月曜日～金曜日・午前8時30分～午後5時15分

●問合せ 人権男女共同参画課 ☎(245)7801



不妊治療の助成回数が増えになりました

福岡県では、不妊に悩む夫婦に不妊治療費の助成と相談事業を実施しています。

平成23年度から、不妊治療費の助成が1年度目は年3回まで申請できるようになりました。2年度目以降は年2回を限度とし、通算5年度助成が受けられます。ただし、合計10回までです。

●対象 象 福岡県内(北九州市、福岡市、久留米市以外の市町村)在住の法律上の夫婦

※外国籍の人は、外国人登録原票で夫婦と確認できる人。

●所得制限 夫婦の所得の合計金額が730万円未満の人

※所得の計算方法は、申請窓口にお尋ねください。

●対象治療 体外受精・顕微授精(凍結卵・胚を使用した治療を含む)

※凍結保存料は対象となりません。また、採卵に至らない場合も対象となりません。

●助成額 1回の治療につき上限額15万円

●医療機関 知事が指定した医療機関

※指定医療機関は変更になる場合がありますので、申請の際は、申請窓口にお問い合わせください。

●申込締切 治療が終了した日の属する年度内(3月31日まで)
※やむをえず年度内に申請できない場合に限り、翌年度の4月10日まで受け付けます。詳細

しくはお問い合わせください。
●問合せ 宗像・遠賀保健福祉環境事務所
☎0940(37)4070

障がい者職業訓練生を募集します

●訓練コース コンピュータ製図科、プログラム設計科、商業デザイン科、OAビジネス科、福祉住環境科、ネットビジネス科、総合実務科

●定員 各20人

●ネットビジネス科は30人です。

●訓練期間 1年間

※プログラム設計科は2年間です。

●対象者 身体障害者手帳所持者または取得可能な人

※身体障がい以外の障がいがある人はご相談ください。

●申込締切 平成24年1月6日(金)

※応募書類など詳しくはお問い合わせください。

●問合せ 国立県営福岡障害者職業能力開発校
☎(741)5431

公共職業訓練生を募集

●募集科 プログラム設計科、自動車整備科、機械科、建築科、塗装科

●応募締切 平成24年1月20日(金)

●選考日 2月3日(金)

※応募方法など詳しくはお問い合わせください。

●問合せ 福岡県立小竹高等技術専門学校
☎09496(2)6441

地域在宅医療支援センターにご相談ください

がんや難病などで緩和ケアを受けながら、住み慣れた家での療養を希望する人の相談窓口です。

がんなどで、病気の治癒や完治を目的とした治療が有効でなくなった場合、その痛みや苦しみをやわらげ、その人らしく住み慣れた家で療養できるように支援していきます。お気軽に相談してください。

●相談受付時間 月曜～金曜日・午前9時～午後5時

●相談電話番号 ☎0940(36)2366

●問合せ 宗像・遠賀保健福祉環境事務所
☎0940(36)2366

健康ファミリー

保健センターだより



保健センター ☎(246)1611

健康づくりサポート教室 受講生を募集します

食事編

- **日 時** 平成24年1月19日
日 午前9時30分～午後1時(受付は9時から)
- **場 所** 保健センター
- **テーマ** 食事で防ぐ慢性腎臓病
- **内 容** 栄養士による講義と調理実習
- **受講対象** 次のいずれかに当てはまる人
- 肥満症などの生活習慣病を改善しようと思っている人
- 家族の調理を担っている人
- 生活習慣病について知りたい人
- 特に蛋白尿などの腎障がいがある人や腎機能低下を医師から指摘された人
- **定 員** 40人(先着順)

- **参加料** 400円(食材料費として)
- **持ってくるもの** 筆記用具、エプロン、三角巾、電卓、健康手帳、あれば食品成分表
- **申込締切** 1月12日(日)
- ※ 受講取り消しの連絡は、1月12日までにお願ひします。13日以降に受講取り消しをする場合は、参加料400円をいただきますので、ご了承ください。
- **参加者の声** 10月12日に開催された、健康づくりサポート教室(食事で防ぐ腎臓病)に参加したみなさんの声を一部紹介します。
- エネルギーだけではなく、たんぱく質・塩分も気を付ける必要があることを初めて知りました
- 今までは塩分量が多かったとつくづく思いました
- 焼くより蒸し料理の方がカロリーも下がり、ふっくらして美味しかった

運動編

- **日 時** 平成24年1月10日
日 午前10時～11時30分(受付は9時30分から)
- **場 所** 保健センター
- **テーマ** お正月に食べ過ぎた人もそうでない人も健康長寿遺伝子を目覚めさせよう(チューブエクササイズ)
- **内 容** チューブエクササイズで筋肉量を増やし、

基礎代謝をあげ、体脂肪を燃やします

※長寿遺伝子とは、老化のスピードをコントロールする遺伝子です。バランスの良い食生活や適度な運動を続けることで、長寿遺伝子が活性化されます。

運動不足になると、筋肉量が減り、太りやすくなって動脈硬化の危険性が高まります。健康づくりには、ウォーキングのような有酸素運動のほか、筋力トレーニングも併せて行うことで、さらなる効果が期待できます。

● **受講対象** 運動不足を感じている人、体重が気になる人など

※現在、病氣治療中の人は、医師から運動制限の指示のない人に限ります。

- **定 員** 25人(先着順)
- **参加料** 無料
- **持ってくるもの** 室内シューズ(動きやすい服装)、タオル、水筒(必要な人)、健康手帳
- **申込締切** 1月6日(金)
- **申込・問合せ先** 保健センター ☎(246)1611

楽しく運動しよう！
チューブを使って



| 状況 | 疑われる箇所・病氣 |
|---------------|----------------------------------|
| 腫瘍・のう胞(水のたまり) | 肝臓、胆のう、すい臓、脾臓、腎臓、子宮体部、卵巣、膀胱、乳腺など |
| 結石 | 胆のう、胆管、すい臓、腎臓、尿管、膀胱など |
| 腫大(腫れ)・委縮 | 肝臓、胆のう、すい臓、脾臓、腎臓、卵巣、前立腺など |
| 外傷 | 肝臓、すい臓、脾臓、腎臓、血管など |
| その他 | 頸動脈異常、大動脈瘤、腹水、胸水、子宮筋腫 |

※ほかにもたくさんの病氣があります。

先月に引き続き超音波検査についてです。今回は、「どのような病氣が分かるか」などを中心にお話しします。

一般に超音波は形の変化を検査します。対象とする臓器の密度と音波が通る速度を掛けたものが超音波の色の違いとなって現れるので、「白が悪い」「黒が悪い」というものではありません。具体的には左表のような病氣が分かります。

ちなみに、子宮体部癌はある程度分かりますが、子宮頸部癌は超音波では進行したものではないと分からないことも多いため、やはり子宮癌検診は大変重要です。

よく指摘される疾患に脂肪肝があります。本来は顕微鏡で肝臓の組織を見て3分の1以上の脂肪成分のあるものを脂肪肝と言いますが、超音波では通常より白く写るため、脂肪肝と判断できます。純粋な脂肪肝であれば、身長から割り出した理想体重に減量し、3～6か月維持すると脂肪肝は改善しています。しかし、肝臓の周りに皮下脂肪のように余分な脂肪がついているわけではなく、肝臓の正常細胞の働きを妨げているので放置はよくありません。余談ですが、次の食べ物にありつけるか分からない状態の肝臓も、入ってきた栄養素を脂肪として肝臓に蓄えるため脂肪肝なのです。人間の身体って、不思議ですね。

知って得する
医療講座
Medical Lecture
No. 51

超音波検査(後編)

■今回の講師■



日野山弘美 超音波検査士
中間市立病院 ☎(245)0981
中間市蓮花寺三丁目1-7

子どもたちの瞳に映るもの

「身近な差別・イジメについて」

松本 真綾 さん
(中間中学校3年)

平成22年度小・中学校人権作文から

私は小さいころよくいじめられてました。私は、小さいころはとても気が弱くてすぐイジメのターゲットにされてました。それに気付いたお母さんから「悔しくないんね？もっと強くなりなさい」と言われました。私はその言葉を聞いて「強くならなきゃ」と思い、いつも私をいじめている子たちに「何でそんなことするん」と勇気をふりしぼって言いました。するとそれから私はターゲットから外されてました。あのとき、お母さんがあの言葉を言ってくれてなければ今、私はまだ弱いままだったと思います。私は今、もし友だちがいじめられていたら止めることができます。本当です。今、私の周りでイジメや差別をする人はいないと信じてます。でももしいたらみんなで止めていこうと思います。そして、「そういうことをしてはいけないんだよ。」と伝えていけたら、クラスから学年へ学年

から全校へと、どんどん広まっていき、日本だけじゃなく世界のイジメや差別がなくなるんじゃないかなと思ってます。そしてまたこの作文からも伝えていけたらなと思います。まだ日本の中にイジメ、人種差別などが絶えません。私はテレビでニュースを見るたびに悲しくなります。イジメを受けた人が絶えられなくなり、自殺。私には理解できません。なぜイジメをしたのか、なぜ周りの人たちが止めてあげなかったのか。周りの人が「大丈夫？」と一言声をかけてあげたら少しは変わってたんじゃないかなと思えます。私はつい最近とても感動した言葉があります。one for all, all for one. 二人はみんなのために。みんなは一人のために」と言う意味の言葉です。これを初めて聞いたとき、「すごくいい言葉だな」と思いました。私の中で一番好きな言葉になりました。また、この言葉を色々な人に伝えていきたいです。私の将来の夢はテレビに出る仕事をしたいなと思ってます。テレビにでてより多くの人たちに、イジメや差別はいけないんだということはもちろんone for all, all for one.を伝えてみんなが笑顔になれたら私はとても「いいな！」って思っています。今は、東日本大震災が起こり、罪もなく亡くなった人たちが。原子力発電所で放射線がでて、内部被爆をして亡くなっている人もいます。

思えます。今こそちゃんど、人権のことについてみんなで考えなければいけないときだと思えます。そして、今こそ「一人はみんなのために。みんなは一人のために」です。まずは、募金からでもかまいません。人の命についてしんげんに考えることはとても大事だと思えます。その中でもまず、自分でやることをやってそれから自分一人ではやれないことを、家族や友だち、クラスメイトなどと一緒にいけたら、いいなと思えます。じやなくやっていきます。難かしいことでもあると思うので、少し時間をかけてでも私はやります。最後に、私はもう一つ、夢があります。それは、世界平和です。世界中が幸せで、イジメもなく、差別もない世界になればいいなと思ってます。

人権標語

- いやがらせ 最後は自分に 返ってくる
中間北中学校3年 白石 和樹さん
- ありがとう みんなの心を つなぐ糸
中間中学校3年 和田 勇弥さん
- 摘み取ろう 心にひそむ 差別の芽
中間南小学校6年 樫東 真子さん

中間市で公開録画。あなたも観覧しませんか。

俳句王国

「俳句王国」の公開録画をなかまハーモニーホールで行います。俳句の面白さや日本語の美しさを堪能していただくとともに、俳句の作者や句の意味などを推理していく知的エンターテインメントとしてもお楽しみいただけます。観覧には事前の申し込みが必要です。多くのみなさんのお越しをお待ちしています。

- 期 日 平成24年2月4日(日)
- 時 間 午後1時20分～3時20分
(開場は12時30分～)
- 場 所 なかまハーモニーホール・大ホール
- 観 覧 料 無料
- 申込方法 郵便往復はがきの「往信用裏面」に郵便番号、住所、名前、電話番号、自由題で未発表の作品を一句(作品の投句は任意)、「返信用表面」に郵便番号、住所、名前を記入のうえ申し込んでください

- 申込締切 平成24年1月6日(金)・必着
※申込者多数の場合は、抽選のうえ、1枚で2人まで入場できる整理券を1月23日(日)ごろ発送します。
- 申 込 先 NHK北九州放送局「俳句王国」係〔〒803-8555(住所不要)NHK北九州放送局〕
- 注意事項
 - 1歳以上のお子さんから入場整理券が必要です
 - 句は1人1句でお願いします。お寄せいただいた作品の中から3句を特選として番組の中で紹介します
 - インターネットオークションなどでの転売を目的とした申し込みは固くお断りします。売買を目的とした申し込みであると判明した場合には、抽選対象外とします
- 問 合 先 NHK北九州放送局
☎(591)5002
(土曜・日曜日・祝日を除く平日午前9時～午後7時)





みんなのひろば

このページは、みなさんでつくるコーナーです。イラストやマンガ、エッセイ、お知らせなどをお待ちしています。はがきで広報広聴係までご連絡ください。



Cooking

今月のおすすめ料理



チンゲン菜のクリーム煮

材料(4人分)

チンゲン菜…600g^ア、豚バラ肉(薄切り)…200g^ア、牛乳…200ml、片栗粉…大さじ1、サラダ油…大さじ2、塩…小さじ2/3、酒…大さじ2、こしょう…少々

作り方

- ①豚バラ肉は1口大に切り、湯カップ2弱で約5分間煮る
- ②チンゲン菜は葉を1枚ずつはがして3~4cmに削ぎ切りにし、軸と葉の部分に分けておく。炒める直前まで水に漬けておき、パリッとさせる
- ③中華鍋にサラダ油を熱し、水気を切ったチンゲン菜の軸を入れて塩1/2量をふり、強火で炒める。さらに葉を加えて残りの塩をふり、全体を炒めて酒をふる。しんなりしたら、①を汁ごと加えてこしょうをふり、チンゲン菜が柔らかくなるまで煮る
- ④牛乳を加えて一煮立ちさせ、水溶き片栗粉でとろみをつけて仕上げる

エネルギー 311kcal 食塩 1.3g

中間市食生活改善推進会(緑の会)

◆福岡県立小倉高等技術 専門校体験教室

お気軽にお越しください。

●日 時 平成24年1月21日(土) 午前10時~午後3時

●場 所 福岡県立小倉高等技術専門校(小倉南区横代東町一丁目4・1)

●対 象 一般、離転職者および学生

●内 容 訓練生の作品展示、体験教室、校内見学

●入 場 料 無料

●問 合 先 福岡県立小倉高等技術専門校

☎(961)4002

◆キャンドルナイトinもじ少年 自然の家を開催します

もじ少年自然の家では、今年初めて「キャンドルナイト」を開催します。数百本のキャンドルに囲まれて癒しの時を過ごしませんか。

お話し会、演奏会などもあります。事前の申し込みは不要ですので、家族や友だちと、もちろん一人でもお気軽にお越しください。

●日 時 12月17日(土) 午後6時~9時

●場 所 もじ少年自然の家(門司区大字喜多久784・1)

●持ってくるもの 上履き

●参加料 無料

※暖かい服装でお越しください。

●問 合 先 もじ少年自然の家

☎(341)1128

◆北九州地区教育力向上 福岡県民フォーラム

「未来へのチャレンジ〜夢と希望と志〜」をテーマに、各界で活躍する4人が若者にメッセージを発信します。多くの方のみなさんの参加をお待ちしています。

●日 時 平成24年1月14日(土) 午前8時50分~午後零時20分

●場 所 なかまハーモニーホ

●募集期間 平成24年度の入学生を募集します。

○幼稚園部：平成24年1月30日(月)

○小学部：平成24年1月30日(月)

○中学校部：平成24年1月30日(月)

○高等学校部：平成24年1月30日(月)

◆福岡県立北九州視覚特別 支援学校入学者募集

●内 容 中間東中学校吹奏楽部によるアトラクション、インタビューダイアローグ

●出 演 萬田美子さん(タレント)、松木健祐さん(NHK制作局)、岩崎雅子さん(パーカッション)、山元彪ノ介さん(建設会社社長)

●入 場 料 無料

●定 員 700人

●問 合 先 福岡県教育庁北九州教育事務所

☎0949(25)1200

●募集期間 平成24年度の入学者を募集します。

○幼稚園部：平成24年1月30日(月)

○小学部：平成24年1月30日(月)

○中学校部：平成24年1月30日(月)

○高等学校部：平成24年1月30日(月)

○特別支援学校：平成24年1月30日(月)

○特別支援学校：平成24年1月30日(月)

○特別支援学校：平成24年1月30日(月)

○特別支援学校：平成24年1月30日(月)

○特別支援学校：平成24年1月30日(月)

○特別支援学校：平成24年1月30日(月)

○特別支援学校：平成24年1月30日(月)

○特別支援学校：平成24年1月30日(月)

○特別支援学校：平成24年1月30日(月)

○特別支援学校：平成24年1月30日(月)

○特別支援学校：平成24年1月30日(月)

豆知識!

ゆで卵を作るとき、あらかじめ殻の丸みのある方に針などで小さな穴を開けておくと、ゆでている最中に殻が割れることもなく、殻もきれいにむける。

市民図書館だより

「ほっとブックなかま」のおはなし会 クリスマス会を開催します



市民図書館で開催されたときの様子

市民図書館は現在休館していますが、読書ボランティアの「ほっとブックなかま」は、毎月第3土曜日におはなし会を開催しています。場所は月ごとに変わりますが、楽しい話を毎回聞かせてくれます。

親子でぜひ参加してください。

- 日 時 12月17日(土)・午前11時～
- 場 所 地域交流センター
- 内 容 クリスマスに関わる絵本の読み聞かせなど
- 問 合 先 市民図書館
☎(245)4664

わが家の すこやかちゃん



な す は る と ちゃん
奈 須 遼 斗 ちゃん
平成21年8月1日生(中尾四丁目)

いつも元気一杯なはるとくん。毎日笑顔と元気で幼稚園がんばってネ!!



や す た け え い た ちゃん
安 武 瑛 泰 ちゃん
平成22年1月30日生(東中岡二丁目)

ママとパパの宝物だよ。これからも明るく元気なエイタンでいてね♪

編集後記

- ▶早いもので今年もあとわずか。忘年会シーズンに突入です。誘惑に負けず、心と体を引き締めて頑張ります。(健)
- ▶今年は4月から新体制。来年はさらにパワーアップしますので、広報なかまをこれからもよろしく願います。(謙)
- ▶今年は取材を通じて、たくさんの人との出会いの年となりました。みなさんよいお年をお迎えください。(悠)

15年ぶりに銀賞に輝く



前列左から湯浅ひろさん、原田麻央さん、島崎菜光希さん
後列左から丸山千尋さん、宇都宮信平さん、伊藤碧さん

中間市在住の6人が所属する北筑高等学校吹奏楽部が、11月20日に大阪市で開催された全日本マーチングコンテストに出場し、銀賞を受賞しました。15年ぶりとなる出場に、「感動を与えたい」と話していた6人の思いは、きっと見ている人たちに伝わったことでしょう。同校は、12月18日にさいたま市で開催される第39回マーチングバンド・パトントワーリング大会にも出場。こちらでは金賞目指して頑張ってくださいね。

人形がつないだ縁で賑やかな米寿

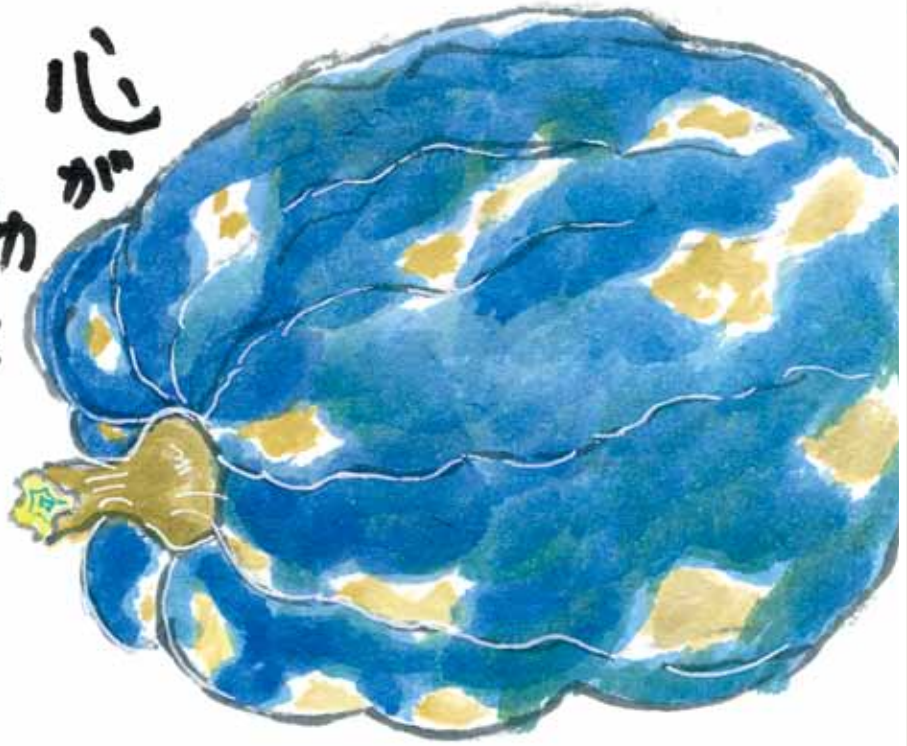


山本美枝子さん(写真中央)と生徒さんたち

11月4日～6日、山本美枝子さん(浄花町)宅で「米寿を迎えての作品展」が開かれました。家の中は、色とりどりの和紙人形や木目込み人形などでいっぱい。山本さんは月2回、無料で人形作り教室を開き、集まった人たちと人形作りを楽しみます。山本さんは「人形づくりで集まった人たちとおしゃべりができるから楽しい。手と口が動く限り続けていきたいですね」と夢を語りました。

文芸歳時記

心が動く
心が生き返る
人生楽しく。



→ 福田俊子さん (松ヶ岡) ・ 作

俳句

末永 あつし 選

秋簾病の事に触れぬまま

小田ヶ浦一丁目

広松 律子

倒木に銀鱗めきて毒菌

太賀二丁目

緒方 益子

稲架棒の束かけるたび軋みけり

桜台二丁目

篠原 正章

細りつつ雨の葎の虫名残

太賀二丁目

中山 富子

蔓刈つて園児を待てる諸畑

通谷五丁目

後藤 欣子

短歌

中間市短歌会

立花 勲 選

諍いてふと目をやれば厨房に苦手の里芋の剥いてあるなり

太賀一丁目

石田 順子

水面に赤レンガの家色うつす二羽の水鳥よりそい泳ぐ

太賀三丁目

日野 康子

中秋の月すみわたり天空をのぼる姿に手を合せおひ

通谷一丁目

戸田 恵美子

お日さまの温みにすつぽり包まれてぐつすり眠れり夢一つ見ず

岩瀬四丁目

吉岡 比呂己

つはぶきに黄色の蝶のまつはりて力のかぎりを叫ぶかに見ゆ

通谷一丁目

宮崎 弥生

川柳

吉富 廣 選

少年期親が杭打つ道標

弥生一丁目

大住 久子

つるべ落とし過去帳めぐり泣き笑い

通谷五丁目

濱下 スミエ

おはようの挨拶だけで気分よし

弥生一丁目

堀 すみ子

敬老を敬われては背筋伸び

弥生二丁目

永石 スミ子

抜け道のナビは答えを教えない

中央三丁目

桑原 康博

表紙説明

モデルは子育て支援センターに遊びに来ていた柴田菜採さん(中央三丁目)と千奈美ちゃん(5か月)。この日は父親の昌宏さんも一緒。菜採さんは「健診のときに保健センターで紹介されて遊びに来ました。楽しい雰囲気ママ友ができそうです」と話しました。

■「広報なかま」の配布は発行日から開始します。みなさんのお手元に3日以内でお届けできるようにしています

■発行 福岡県中間市役所 ■編集 総務課広報広聴係
〒809-8501 福岡県中間市中間一丁目1番1号

TEL 093(244)1111 FAX 093(245)5598

■ <http://www.city.nakama.fukuoka.jp/>

■ webmaster@city.nakama.fukuoka.jp

■今回の「広報なかま」にかかった経費は1部約34円です